

発行 医療法人 蒼龍会 武蔵嵐山病院

# ほほえみ

No. 89  
SUMMER/2026

<https://www.ranzan-hp.or.jp/>

〒355-0077 埼玉県東松山市上唐子1312-1 TEL 0493(81)7700 FAX 0493(81)6776

## 地域とともに

本部事務局長 伍井 輝 幸

盛夏の候、地域の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より武蔵嵐山病院をご利用いただき温かいご支援とご理解を賜っておりますことに、衷心より御礼申し上げます。

今、私たちの医療業界は、大きな転換期を迎えております。団塊の世代800万人が後期高齢者になった「2025年」を経て、国は2040年を見据えた新たな地域医療構想の検討を進めています。その中では、病院だけでなく在宅医療や介護との連携を強化し、地域全体で患者さんを支える仕組みづくりが重要なテーマとなっています。さらに、医療従事者の不足や医療費の増嵩への対応として医療DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進も求められています。

こうした変化の渦中であっても私たちの医療の原点がブレることはありません。それは、「患者さん一人ひとりに寄り添うということ」です。いかに技術が進歩しても、人と人との信頼関係こそが医療の基盤であると考えているからです。

私たちの病院グループは、「総合診療」「リハビリテーション医療」「透析医療」「在宅医療」「健診」を柱とし、急性期から回復期、慢性期、更には在宅療養、予防医療まで切れ目のない医療の提供に努めています。また、地域の医療機関や介護施設との連携を深めながら、患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援し続ける所存であります。これらを実現していくためにプロジェクトチームを作って検討を開始しました。

地域の皆さまにおかれましては、健康づくりのパートナーとして武蔵嵐山病院を身近に置いていただけますと幸甚に存じます。また、志を同じくする職員諸兄には日々の診療を支えていただいていることに改め感謝申し上げたいと思います。医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが、私たちには「地域の健康と暮らしを守る」という大切な使命があります。

小誌「ほほえみ」が、患者さん、ご家族、地域の皆さま、そして職員をつなぐ架け橋となり、武蔵嵐山病院をより身近に感じていただくきっかけになれば良いと思います。

今後も「真心・信頼・努力」の不变の理念の下、地域に根差した医療を提供し皆さまに信頼される武蔵嵐山病院グループとして邁進してまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

追伸

医療および介護にお困りでも「敷居が高くて」とお感じになられておられる方が多いのではないかと思います。お気軽に何でもご相談くださいますように。

弊院 患者支援センター直通：0493-81-6794(平日・土曜日8:30～17:30)

# 新任医師紹介



— 一般内科 —

医師 長谷川 忠

4月に入職させていただきました長谷川忠と申します。

外来では一般内科を標榜しています。高血圧症・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病、風邪に肺炎を併発した方やつらい咳が遷延する方などを、確実に診断し治療することを心掛けます。その

他様々な症状の方が来院されますが、丁寧な診療をしていきたいと思えます。

専門領域としては、外科医だった経験を生かして、癌の緩和医療が必要な方を積極的に受け入れています。疼痛コントロールや苦痛軽減を速やかに達成し、緩やかに生活していただくことを目指します。

自宅に戻りたいと希望される方には、訪問診療を行っています。病院のバックアップがある安心を感じながら、自宅で過ごしていただくことが理想です。

体調を崩した場合には入院治療に速やかに移行できます。

東松山市や比企地域に早く慣れていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



— 糖尿病内科 —

医師 勝盛 弘三

2026年4月から常勤医として、勤務しております勝盛弘三と申します。糖尿病および甲状腺疾患の患者さんを週4日で外来診療しております。はじめに、私の経歴を述べさせていただきます。1991年に群馬大学を卒業し、大学病院で糖尿病

全般の診療に従事しました。その後、急性期病院で専門医や糖尿病療養指導士(CDEJ)の育成をしながら診療を行ってまいりました。また、チームを作り糖尿病教育に従事し啓蒙活動を行いました。今後はこの地域でもスタッフとともに同様の活動を行う予定です。

糖尿病を長期に患っておられる患者さんは合併症と併発症をかかえることが多く、病態は様々です。療養をサポートする上で、関連する診療科と連携をとることが必要不可欠と考えております。地域の開業医の先生方や先進的な医療を行う中核病院・大学病院の先生方とも連携を深めることもあると思えます。合併症を進行させないために、患者さん目線で適切な医療を行いますので、よろしくお願いいたします。

# 新入職員紹介（放射線科、リハビリ部）

「代表して2名の方にインタビューしました。」



— 放射線科診療放射線技師 —

新井 月渚さん

## その職種を志したきっかけは？

叔父が診療放射線技師として働いており、その姿を見てこの仕事を目指すようになりました。患者さんに寄り添いながら検査をしている姿が印象的で、自分も患者さんに安心して検査を受けてもらえるような技師になりたいと思いました。

## 入社して1か月経ちます。感想はありますか？

少しずつ職場の雰囲気や業務の流れにも慣れてき

ました。まだ覚えることはたくさんありますが、先輩方が優しく教えてくださるので毎日頑張っています。最初は緊張していましたが、最近は少しずつできることも増えてきて、やりがいを感じています。これからもっと成長できるように頑張ります。

## どんな医療人になりたいですか？

知識や技術を高め、正確で安全な検査を行うことはもちろん、患者さんの不安を少しでも和らげ安心感を与えられる医療人になりたいです。

## 好きな言葉は何ですか？

好きな言葉は「何事も前向きに」です。うまくいかないことがあっても気持ちを切り替え、前向きに取り組むことを大切にしています。

## 最後に一言お願いします

未熟な部分が多いですが、分からないことをそのままにせず、自分から積極的に学ぶ姿勢を大切にしていきたいです。



— リハビリ部作業療法士 —

須藤 廉さん

## その職種を志したきっかけは？

子供の頃、家族が体を痛めて通院していたことがあり、リハビリを受けて少しずつ働けるようになっていく姿を見て「人の回復に関われる仕事ってすごいな」と感じたのがきっかけです。その経験がずっと頭に残っていて、進路を考える中で作業療法士を目指しました。

## 入社して1ヶ月経ちます。感想はありますか？

毎日新しいことばかりで大変ですが、その分学び

も多く、少しずつできることが増えてきていると感じています。先輩方に助けていただきながら、一日一日を大切にしています。

## どんな医療人になりたいですか？

患者さんの気持ちにしっかり寄り添い、その人らしい生活を支えられる作業療法士になりたいです。患者さんや先輩方から安心して任せてもらえる存在を目標にしています。

## 好きな言葉は何ですか？

「継続は力なり」

小さなことでも積み重ねていくことを大切にしています。

## 最後に一言お願いします

小学4年生から高校3年生まで、約9年間軟式テニスを続けてきました。継続する力と忍耐力には自信があります。まだまだ未熟ですが、分からないことをそのままにせず、一つひとつ吸収していく姿勢を大切にしています。これからも努力を続けていきます。

## 栄養サポートチームの活動紹介



健康なときだけでなく、病気になったときこそ「栄養」はさらに重要な問題になります。栄養状態が悪いと、病気の回復が遅れたり、傷が治りにくくなったりします。進行すると筋力が低下し、寝たきりにつながることもあります。実は、入院される患者さんの約半数が栄養不良の状態にあるといわれています。

### NST（栄養サポートチーム）とは？

医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）、介護士など、さまざまな専門職が知識を持ち寄る「栄養管理の専門チーム」です。

それぞれの専門性を活かしてチームで考えることで、より細やかな対応が可能になります。栄養状態を改善し、病気の回復や早期退院をサポートする重要な役割を担っています。

### 主な活動内容

#### ● 多職種による検討会（月2回）

検査数値、食事の摂取量、全身状態などを把握し、患者さん一人ひとりに合わせた最適な栄養補給の方法を話し合います。

#### ● 病棟ラウンド

患者さんのベッドサイドへうかがい、観察・対話を通じて状態の確認やケアの見直しを行います。

### 私たちの想い

「食べる」「栄養を補給する」ことは、人が生命を維持するために不可欠な行為です。病気や療養生活のなかで思うように食事がとれない患者さんに対し、「どうすれば今以上に栄養状態を改善できるか」を常に考え、チーム一丸となって活動しています。



# IT課 Information Technology Division



皆様が当院を受診される際、医師が診察室で入力している「電子カルテ」や、お会計の計算を行う「医事会計システム」など、病院内には数多くの医療情報システムが導入されています。私たちシステム部門は、これらが24時間365日、「いつでも安全に、そして止まることなく動く環境」を維持・管理している部署です。

普段はあまり表舞台に出ることはありませんが、私たちの業務は多岐にわたります。

例えば、万が一システムが停止してしまったらどうでしょうか？診察や検査、お薬の処方などが滞り、患者様をお待たせする、もっと大変な事態になると診察ができなくなるということにもなってしまいます。そうした事態を防ぐため、日々のサーバー点検やネットワークの監視に細心の注意を払っています。

また、院内の「ITの相談窓口」として、「パソコンが起動しない」「診察室のプリンターから印刷ができない」「Officeソフトの操作方法がわからない」といった、医師や看護師、事務職員からの日常的なSOSにも素早く駆けつけ対応しています。病院のスタッフがストレスなく、患者様のケアに集中できるようサポートすることも、私たちのたいせつな役割です。

さらに近年では、皆様大切な個人情報や医療データをサイバー攻撃などの脅威から守るため、情報セキュリティ対策の強化にも力を注いでいます。常に最新の対策を講じ、病院全体のITセキュリティ力を高めることで、皆様に安心して医療を受けていただけるように管理運用しています。

最先端の医療機器や技術が進歩する現代において、医療とITは切り離せない関係にあります。私たちはこれからも「縁の下の力持ち」として病院全体を支え、より安全で質の高い医療サービスを地域の皆様へお届けできるよう、システムの安定的な稼働に努めてまいります。

# 春の苗植えレクリエーション

回復期リハビリテーション病棟  
介護福祉士 濱中 留美

前日の大雨が嘘のように青空の下、回復期病棟で春の苗植えレクリエーションを行いました。当日は時折強い風も吹いていましたが、爽やかで心地よい気候に恵まれ、21名の患者さんが参加されました。

今回はスイカやメロン、きゅうり、プチトマトの苗と、そして朝顔の団十郎の種を植えました。この朝顔の種は、入院中の患者さんからご寄付いただいたもので、温かいお気持ちが活動をより特別なものにしてくれました。

苗や種を前にすると、「これは何を植えているの?」「大きくなるかな」「収穫が楽しみだね」といった声があちこちから聞かれ、自然と笑顔や会話が広がりました。普段あまりお話されない方も、隣の方に声をかける姿が見られ、和やかな時間が流れていました。写真撮影では少し照れた様子もありましたが、苗植えには皆さん意欲的に取り組み、次第に表情もやわらいでいきました。

また「昔、畑をやっていたよ」「懐かしいね」「花なら育てたことあるよ」といった声も聞かれ、土に触れることで思い出がよみがえる場面もありました。当日は職員が麦わら帽子を準備し、患者さんに着用していただきましたが、風で帽子が飛ばされそうになりながらも笑い合う様子が印象的でした。

普段は立つことが難しい患者さんも、この日は周囲の見守りや介助を受けながら立ち上がり、作業に参加される姿が見られました。苗植えから水やりまで一連の作業を終え、「楽しかった」「またやりたい」と達成感に満ちた表情が見られました。

自然に触れながら過ごすひとときは、心身のリフレッシュだけでなく、人と人とのつながりを深める大切な機会となりました。今後もこうした活動を通じて、苗や朝顔が成長していく様子を見守りながら、収穫や開花の喜びを皆さんと分かち合っていきたいと思います。





## 通所リハビリオリジナルカレンダー 作成しました!!

当通所リハビリでは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士などの専門職による「リハビリ特化型」の半日型施設で、4月末現在の利用者数は148人、1日平均利用人数は36.5人となっています。

当施設では、ご利用さんが住み慣れた自宅で安全に生活を続けられるよう、日常生活動作の練習や社会復帰に向けた作業活動、趣味活動の提案、安全に食事をするための機能練習などを行っており、上記の専門職によるリハビリの他、レクリエーションや映像を活用しての体操、ストレッチ運動、エアロバイク、スタッフと一緒に屋外や院内の散歩などのプログラムをご用意しています。

今回、精勤賞の副賞としてオリジナルカレンダーを作成しました。「リハビリを頑張るきっかけになれば」という思いを込め、ご利用さんを応援するために企画したものです。作成に当たっては、若手の理学療法士を中心にアイデアを出し合い、各月にはその時期に意識して取り組んでいただきたいリハビリ内容を掲載し、楽しみながら継続できるように工夫しています。スタッフ全員がモデルとなっていますので、当施設をご利用された方々にとってはより身近に感じられると思います。

今回、精勤賞の副賞としてオリジナルカレンダーを作成しました。「リハビリを頑張るきっかけになれば」という思いを込め、ご利用さんを応援するために企画したものです。作成に当たっては、若手の理学療法士を中心にアイデアを出し合い、各月にはその時期に意識して取り組んでいただきたいリハビリ内容を掲載し、楽しみながら継続できるように工夫しています。スタッフ全員がモデルとなっていますので、当施設をご利用された方々にとってはより身近に感じられると思います。

当施設をご利用希望の方、またご興味のある方は担当するケアマネージャーに相談されるか、または直接のお問い合わせもお待ちしています。その際は0493-81-6872までご連絡ください。



これからも、ご利用者さん  
お一人お一人が生き生きと元  
気に過ごせる事業所を目指  
し、職員一同取り組んでまい  
ります。

(地域リハケアステーション  
所長 江崎真理恵)



# 「幸せと感謝を届けるパンの店 かすみ草」

BREAD

## 人気パンベストスリー紹介

武蔵嵐山病院で月の第3月曜日（祝日の場合は前後の週）に出店していただいているパン屋さんです。職員だけでなく患者さんからも好評いただいています。これを機会にぜひご賞味ください。

- 1位 和みのあんぱん
- 2位 ちくわパン
- 3位 植物の恵み滑らかクリームパン



### Q パン屋さんを始めたきっかけは

A 何でも食べられることが当たり前ではないと気がついたことがパン屋を始めたきっかけです。食に制限があると家族みんなの食卓にも制限が生まれてしまいます。それを我慢ではなく食べられるおいしさに置き換えられたら、もっと笑顔の輪が広がるのではと思いました。中でももともとパン作りが好きだったことから、卵乳製品を使わないパンと言う形でこの思いを形にしました。

### Q どんな場所に出店していますか？

A 地元を中心に近隣の町  
JA 嵐山 美容室たんぼほ店頭 マルシェ  
(今後は JA 嵐山 吉見町のカフェ 寄居町の焼き芋屋さん店頭に出店予定)



### Q おすすめメニューは

A 全部です・・・これは販売中にもよく聞かれますがお勧めできないものは並べないので  
ですので、お買い求めいただくときに何を求めている（甘いもの、がっちり食べたい、など）、お客さまの「そのとき」に合わせてお薦めしております

### Q やりがいを教えてください

A パンを作っていて「楽しい」の一言です



### Q 移動パン屋ならではの印象に残るエピソードは

A 荷物が重い！重い！忘れ物をする！大概何か忘れてる・・・現地について「あ！」は多分毎回（笑）  
一番「・・・」だったのはご想像にお任せします パン屋ですけど・・・



自宅工房  
住所 嵐山町松ヶ丘3-4-6  
時間 10:00~13:00

ピアダイニングエニイ  
住所 嵐山町石坂912-2  
時間 17:00~23:00

美容室たんぼほ  
住所 嵐山町松ヶ丘2-3-10  
時間 9:30~12:30 (冬季は10:00~)

武蔵嵐山病院内デイリーヤマザキ  
住所 東松山市上郷子1312-1  
時間 10:00~13:00



JA 埼玉中央嵐山農産物直売所 (JA 嵐山)  
住所 嵐山町石坂1014-1  
時間 10:00~13:00

JA 埼玉中央嵐山農産物直売所  
住所 嵐山町干手堂 686-1  
時間 9:00~12:00



今後、東坂戸団地内の一階商業スペースでも販売ができるようになる予定です

幸せと感謝を届けるパンの店  
かすみ草

